

南洋理工大学（シンガポール）

GEM Trailblazer Exchange AY2024/2025 [Fall Semester]

募集要項

本学の協定校で、且つ、キャンパスアジアの連携大学である南洋理工大学（シンガポール）で実施される GEM Trailblazer AY24/25 Semester 1 (Fall 2024) Exchange Programme（「授業＋研究」 / 「授業」）への派遣学生を募集します。

キャンパスアジアウェブサイト：<http://www.ipo.titech.ac.jp/campusasia/japanese/>

- 派遣先大学の事情や感染症拡大などのやむを得ない事情により、派遣が中止となる場合がある。了承の上、応募すること。
- 以下の外務省ウェブサイトで渡航先の危険情報と、日本からの渡航者に対する各国・地域の入国制限措置及び入国・入域後の行動制限を、必ず確認すること。
<https://www.anzen.mofa.go.jp/>
https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/pdfhistory_world.html
- 本プログラム参加にあたっては、必ず家族・保証人及び指導教員に相談し同意を得ること。

記

1. プログラム名

GEM Trailblazer AY24/25 Semester 1 (Fall 2024) Exchange Programme

2. 派遣先大学

南洋理工大学（シンガポール） (<https://www.ntu.edu.sg/>)

3. プログラム期間

2024 年 8 月 12 日（月）～2024 年 12 月 6 日（金）

4. プログラムタイプ

1) Coursework + Research（授業受講＋研究）

南洋理工大学の研究室に所属し、派遣先大学の指導教員の下で研究を行い、授業を受講する。

2) Coursework（授業受講）

南洋理工大学の正規課程の授業を受講する。

5. 対象学年

学士課程 3 年生以上もしくは修士・博士課程学生

6. 支援

奨学金：JASSO 奨学金（10 万円）※1 受給要件あり

授業料：免除

航空券：プログラムより往復航空券を支給

海外旅行保険：プログラム負担で指定の海外旅行保険および危機管理サービスに加入

宿舎：オンキャンパス寮への入居が可能（無料）***セメスター単位での滞在の場合のみ**

※1 国費奨学金受給学生は、JASSO 奨学金の受給不可

7. 費用（自己負担）

現地諸費用、研究雑費 SGD 250 - 280 など

8. 募集人数

2 名

9. 応募締切

2024 年 **2 月 19 日（月）正午必着**

10. 書類提出先および問い合わせ先・提出方法

書類提出先および問い合わせ先：

留学生交流課キャンパスアジア事務局

大岡山キャンパス 本館 3 階 321 室

Email: campusasia@jim.titech.ac.jp Tel : 03-5734-2984

オフィスアワー：9：15～12：15, 13：15～17：00

提出方法：直接持参、もしくは以下のリンクからアップロードすること。

ファイル名は、フルネームと「7. 応募書類」に太字で記載されている書類名を入れること。

例：「東工大太郎_(3) パスポートの顔写真ページの写し」

「東工大太郎_東工大申請書」

【応募書類提出用フォルダ】

<https://tokyotech.app.box.com/f/4d8a8878403e4ca7804629169d9e87d8>

11. 応募資格

1) 学士課程 3 年生以上もしくは修士・博士課程学生。**※1**

2) 留学期間終了後、本学に戻り学業を継続する者。

3) 国籍は問わない。ただし、奨学金受給には 6) の要件を満たす必要がある。

4) 前年度（2022 年度）の成績評価係数が 2.3 以上の者。算出方法は下記の計算式を参照のこと。**本学の GPA 制度とは算出式が異なるため、必ず自分で計算すること。**

5) TOEIC800 点以上、TOEFL-iBT90 点以上、もしくは IELTS (Writing) 6.0 以上を取得している者。

* スコアがない場合や語学基準に満たない場合は、教員による「語学力を保證するレター」を添付すること応募可。

6) 奨学金受給を希望する者は以下の資格を満たす必要がある。

(ア) 日本国籍を有する者（独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）による支援）

(イ) 「成績評価係数の算出方法」の計算に基づく前年度成績が評価係数 2.30 以上。**※2**

(ウ) 以下の家計基準を満たす場合には、本制度による奨学金に加えて、「渡航支援金」（16 万円）の支援対象となる可能性がある。

(家計基準) 家計支持者全員の収入・所得金額の合計が

給与所得のみの世帯：年間収入金額（税込）が 300 万円以下

給与所得以外の所得を含む世帯：年間所得金額（必要経費等控除後）200 万円以下

※ 家計支持者の収入・所得を証明する書類の提出が必要。取り寄せに時間がかかる場合もある為、対象となる可能性がある場合は、プログラム参加決定後すぐに事務局に申し出、必要書類を確認すること。

※1 現在休学中の場合、留学前に復学する場合に限り、応募を受理する場合がある。事前に「キャンパスアジア事務局」に相談すること。

※2 成績評価係数の算出方法：前年度の成績を次の表により「成績評価ポイント」に換算、計算式にあてはめて算出（小数点第3位を四捨五入）。

成績評価ポイント換算表

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

計算式

$(\text{評価ポイント3の単位数} \times 3) + (\text{評価ポイント2の単位数} \times 2) + (\text{評価ポイント1の単位数} \times 1) + (\text{評価ポイント0の単位数} \times 0)$
総登録単位数

12. 提出書類

申請書・様式は下記のキャンパスアジアウェブサイトからダウンロードすること

<http://www.ipo.titech.ac.jp/campusasia/japanese/dispatch/>

1) 東工大申請書(願書)：英文の申請書を PDF 形式にて提出

* アカデミックアドバイザー（学士課程 ～3 年）、指導教員（学士課程 4 年以上）による署名もしくは押印が必要。

* **NTU で所属する研究室はご自身で探す必要があります。** 研究+授業のコースを希望する場合は、**渡航前までに**東工大の指導教員と相談の上、NTU での受入研究室に受入許可をもらうこと。また、渡航前に受入先の指導教員とオンラインでの打ち合わせを実施することをお勧めします。授業のみの場合は、研究室を探す必要はありません。

2) 人物評価書：PDF 形式のものを 教員本人から 直接キャンパスアジア事務局にメールで提出もしくは以下のリンクにアップロード。

<https://tokyotech.app.box.com/f/db42faa7ce82470392cceb5fd5f83>

* アカデミックアドバイザー（～B3）／指導教員（B4～）による記入が必要

3) 成績証明書（英文・和文両方）：PDF 形式

* 直近の1年度分（2023年度分）を含む、大学及び大学院での全在籍期間の記載があるもの

* 学士課程で別大学に在籍していた場合は、その成績証明書も提出すること

* 和文は教務 Web システムの「成績閲覧」画面をプリントアウトしたものでも可。

4) 語学能力証明書（TOEFL-iBT／TOEIC／IELTS 等）：PDF 形式

* スコアがない場合や語学基準に満たない場合は、教員による「語学力を保証するレター」を添付すること応募可。

5) 学士号取得証明書：PDF 形式（修士課程・博士課程の学生のみ）

6) パスポートの顔写真ページの写し：JPEG 形式（NTU の留学開始日から 6 ヶ月間は有効であること）

7) パスポートサイズの証明写真：JPEG 形式

8) Curriculum Vitae (CV) 英文：Word 形式（様式任意）※プログラムタイプ 1) Coursework+Research のみ必要

学内選考に合格した者は、3 月 15 日（金）までに南洋理工大学のオンラインアプリケーションに上記 3) ～ 8) の書類をアップロードする必要がある。また、その際、南洋理工大学側の受入教員の情報を記入する必要があるため、それまでに受入許可をもらい、予定する研究テーマを決めておく必要がある。

13. 選考方法

書類および面接による選考。面接と Zoom 情報については個別に連絡する。

面接日時：2024 年 2 月 21 日（水） 午前 10：00～12：00

※面接日時の指定や変更は受け付けませんのであらかじめご了承ください。

面接実施後、学内選考結果をメールで通知する。

14. その他（本学より）

- 1) 連携大学との合同発表会で、学生自身の卒業論文を英語で発表することが求められた場合に、正当な理由がない限り、合同発表会に参加すること（オンラインまたは実渡航にて発表予定）
- 2) 派遣推薦の決定後、英語事前学習（合計 2 回開催予定）に必ず出席すること。
- 3) 特段の理由がない限り、留学後に留学イベントでの発表や留学広報、成果に関するアンケート等に協力すること。
- 4) ビザ取得等を含む全ての渡航手続きを完了すること。
- 5) 大学の指定する海外旅行保険および危機管理サービスに必ず加入すること。
- 6) 帰国後 1 か月以内に必要書類を事務局に提出、単位付与を希望する修士課程学生は報告会（英語）に参加し、単位付与の手続きを行うこと。
- 7) 以下の単位を修得することが可能。詳細はシラバスを確認すること。

学士課程学生

- ・ 3 年生および 4 年生の参加：「グローバル理工人研修」等の単位
- ・ 上記にかかわらず、「グローバル理工人研修」等の科目ではなく、所属系の科目による単位となる場合がある。

修士課程学生

- ・ 修士課程学生の参加：原則「グローバル理工人研修アドバンスト」等の単位
 - ・ 上記にかかわらず、所属学院・系・コースまたは専攻の科目による単位付与・認定が行われる場合がある。所属学院・系・コースまたは専攻の海外派遣研修に関連した科目付与・認定を希望する場合は、科目担当教員に直接問い合わせること。
- 8) 留学中は派遣先大学での学修に専念し、長期不在や本学の用務での出張は避けること。
 - 9) 過去の参加者の体験談を[東工大 HP](#)で公開しているので、応募時や留学準備の参考とすること。
「プログラム群」で「キャンパスアジア」を選ぶと本プログラム参加者の体験談を読むことができる。

以上